

箴言30章 70人訳

- 1 これらのことを神に信頼する人に告げる、そして私は終わる。
- 2 私はすべての人の中でもっともおろかであり、そして私の中には人の知恵がない。
 - 3 神が私に知恵を与えてくださるので、私は聖なる知識を知る。
- 4 誰が天に昇り、下るのか？ 誰がそのふとところに風を集めるのか？
誰が衣に水を包むのか？ 誰が全ての地の果てまでを支配するのか？ その名は？ もしくは、
その子らの名は？
- 5 神の全てのことばは火によって試され、彼は彼を敬うものを守る。
- 6 彼により叱責されないよう、あなたが嘘つきとされないために、彼のことばに付け加えるな。
- 7 2つのことをあなたにお願いします。私が死ぬ前に私からあなたの好意を取り去らないで下さい。
- 8 私から虚栄や誤りを取り去ってください、そして私に富も貧困も与えないで下さい。
むしろ私に必要で十分なものを備えてください。
- 9 私が満たされて誤りに入り、誰が私を見るかといわないため、もしくは貧しく盗み、神の名により、
空しいことを誓うことがないためです。
- 10あなたを呪うことのないように、そしてあなたの全てが滅ぼされないため、しもべをその主人の手に渡し
てはいけない
- 11 邪悪な世代はその父を呪い、母を祝福することがない。
- 12 邪悪な世代を自分自身を正しいとし、しかし、自分の道を清めようとしない。
- 13 邪悪な世代は高ぶった目をし、そのまぶたをもって自分を高く上げる。
- 14 邪悪な世代は剣の様な歯を持ち、ナイフの様なあごの歯を持つ。
それにより低い人を地から滅ぼし食らう、貧しい人々を人々の間から滅ぼす。
- 15 ひるには愛する3人の娘がいるが、娘たちは彼女を満足させない、そして4人目は満足せず、十分とは
いわない。
- 16 墓と女性の愛と地とは水に満たされない、水と火とはもう十分だとはいわない。
- 17 父をけいべつして笑い、年取った母をいやしめる目は谷のカラスがつつきだす、
若い鷹がそれを食らう。
- 18 さらに私には理解できないことが3つあり、4つめを私は知らない。

- 19 飛ぶワシの道筋、岩の上の蛇の道、海を渡る船の道である。
若いときの道をも私は知らない。
- 20 姦淫の女の道筋もそうである、彼女は行ったあと身を洗い、自分は不都合なことは何もしていないという。
- 21 3つのことにより地は煩わされ、4つ目を地は耐えられない。
- 22 僕が治め、愚か者が食べ物に満たされ、
- 23 下女が自分の女主人を追い出し、憎むべき女が良い男と結婚するなら。
- 24 地には4つの小さな生き物があり、それは知者よりも賢い。
- 25 蟻は弱いものだが夏の間食料を蓄える
- 26 ウサギは弱い種族だが岩の中に家を構える
- 27 いなごには王はいないが、一つの命令により規則ただしく行進していく。
- 28 いもりは自分自身をその手でささえ、すぐ手で捕まえられるが、王のとりでに住む。
- 29 3つの良く行くものがあり、4つ目は正しく行く。
- 30 獅子の子は全ての地の獣より強く、逃げることなく、どのような獣も恐れない。
- 31 おんどりはめんどりの中で勇敢に歩き、やぎは群れをリードする、国民の前で話す王もそうである。
- 32 もしあなたが自分を陽気から捨て、あなたの手を伸ばして口論に入るなら、あなたは不名誉になる。
- 33 ミルクからミルクが出、それからバターが出る。もしあなたが人の鼻をかき回すと血がでる。もしあなたがことばを出すなら、口論と争いが起きる。

